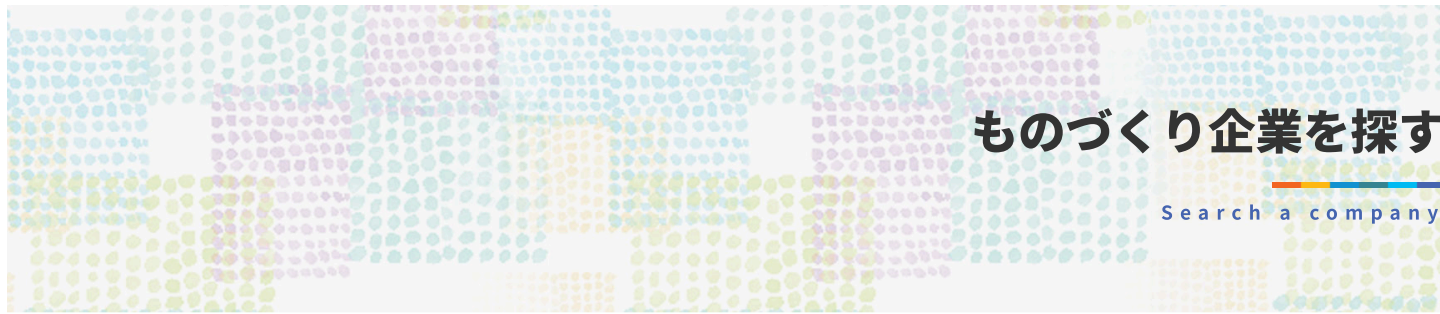


MENU



TOP > [ものづくり企業を探す](#) > 日本システム開発株式会社

ソフトウェア・アプリケーション/クラウドサービス/AI

[この企業のPDFを閲覧する](#)



日本システム開発株式会社

ソフトウェア受託開発50年以上の経験をもとに、医療系のパッケージソフトの開発もおこなっており、病院やバイオバンク向けの検体管理システム、匿名化システム、さらにはリウマチ診断支援システムの開発・販売をおこなっております。

得意技術や自社製品

ナショナルセンターから大学病院様への導入実績も数多くあり、パッケージ製品だけでなく、システムのご提案から開発、さらにはシステムの保守も対応しております。

- ・バイオバンク検体管理システム「SATS」
- ・匿名化番号作成システム「ancs」
- ・検体照合システム「scs」
- ・病院向けのリウマチ診療支援システム「MiRAi」 ※2024/5：リリース予定

医療関連事業への取り組み

- ・NPO法人 バイオチップコンソーシアム加盟、出展
- ・一般社団法人クリニカルバイオバンク学会加盟、出展
- ・日本医療情報学会参加
- ・日本脊髄関節炎学会学術集会参加、出展（予定）

実績・導入事例



検体管理システム サツ

主な機能

あらゆる検体情報の管理

保管期限など検体管理アラート

検体保管場所の一括登録

検体IDの発行とラベル印刷

強固な暗号化技術

情報漏洩・不正操作対策

など

バイオバンク事業の推進にもいかがでしょうか。AMED事業等の研究開発を推進する事業の立ち上げからのご相談（ITサポート）も承ります。

検体管理システム『SATS』



匿名化番号作成システム ancs

主な機能

患者ID等の匿名化・復号化

患者情報の閲覧・編集・検索

バーコードラベル発行機能

操作履歴の出力

外部からのデータインポート

ドキュメント匿名化

など

個人や顧客の様々な情報の匿名化が簡単にできるシステム。患者情報や診療情報などの管理・変換に関する現場のソリューションです。

匿名化番号作成システム『ancs』

- ・バイオバンク検体管理システム「SATS」の大学病院、研究機関への導入
- ・匿名化番号作成システム「ancs」の大学病院への導入
- ・検体照合システム「scs」の大学病院、研究機関への導入
- ・病院向けのリウマチ診療支援システムの開発（2024/5リリース予定）
- ・その他、旅行業、製造業向けのパッケージ製品の導入



検体照合システム『scs』



リウマチ診療支援システム『Mirai』

会社概要

住所	東京都新宿区歌舞伎町2-4-10 KDX東新宿ビル6階
TEL	03-6302-1371
FAX	03-6302-1391
資本金	10,000万円
法人設立年	1971年
従業員数	127名
取得済み認証	・ISO9001:2015 ・ISO/IEC27001:2013 ・環境省 エコアクション21
海外拠点	無
補助金・助成金採択経験	無

公開日:2024/03/19

更新日:2024/03/19

[この企業へのお問合せフォームはこちらから →](#)

※東京都医工連携HUB機構のページが別ウィンドウで開きます。

お問い合わせ先

公益財団法人 東京都中小企業振興公社 取引振興課 医工連携担当
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11 日本橋ライフサイエンスビルディング603号室
東京都医工連携イノベーションセンター内

TEL：03-5201-7323

E-mail：medical@tokyo-kosha.or.jp